

# ふたりのコラム

April 30, 2020

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子  
認定こども園メイプルキッズ 施設長 新井利枝

《3・4・5歳児》

## お子さんの入園・進級、おめでとうございます！

入園・進級して間もなく、佐野市の登園自粛要請を受けました。感染拡大防止のため、たくさんの皆様にご協力をいただいております。それぞれが普段とは違った生活を送っている状況です。まだまだいろいろなことを辛抱しなくてはならない日が続くことと思いますが、それを我慢ではなく、大人も子どもも楽しい時間の過ごし方を工夫していきたいものですね。

新聞も、ネットもTVもコロナのニュースでちょっと減入ってしまいますが、気持ちは明るく、親子で料理、庭先で日光浴、プランターや植木鉢での花や野菜の世話・・・など、楽しいことをたくさん見つけてみてくださいね。大人が元気でいられないと子どもに大きく影響します。大人が元気でいられること、子どもたちが楽しめることなど、今後園より発信していきますのでご覧ください。



さて、新年度がスタート…ということで、このような状況が落ち着いたなら、園で「大人」も「子ども」も楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。あかみ幼稚園には有志参加の楽しい活動（やきもの粘土製作…など）があります。活動ができるようになりましたら、ご案内しますので、関心のある活動、都合がつく日程のものなど、ぜひ参加してみてください。参加することで、視野が広がったり、大人も新しい友達ができたりして、より楽しい園生活が送れることと思います。

保護者の皆さんと私たち保育者で子どもの成長を共に喜び、共感し合えるその関係性の中で、子どもたちはより大きく成長することができると思っています。

園の動物たちや植物は皆元気です！！早くみんなが揃って園で生活できる日を職員とともに待っています。



ピオトープで見つけたタンポポ



園庭のこいのぼり



あひるのモモちゃん



園庭のハナミズキ

## 乳幼児期は人として生きる力・学びの基礎を育む時期

乳幼児期は、周りの大人と安心した関係性築く大切な時期です。また、目の前のことに関心を持ち「面白いな」と探索していきます（初めころは、大人からすると困るようないたずらだったりするわけです）。そして、その安心した環境の下、「自分でやりたい」「できるよ」といった自立につながっていきます。関心は、探究心になり「不思議だな」「なんでだろう」と考え、仮説を立て、試したりするようになります。そして、大きい学年になると調べたりするようにもなります。

また、家族との安定した関係性を基盤に、次第に、近くの他の大人や子ども同士の関わりも増え、「相手」がいる心地よさを感じていきます。そして、だんだん相手の気持ちに気付くようになってきます。このような幼児期の成長には、たくさんの遊びが重要な役割を果たします。

幼児期、しっかり遊ぶことを保証される環境が重要です。

### 幼児期の学び（学習）＝遊び です！

子どもは、〇〇を学ぶために、この遊びをする、というわけではありませんよね。子どもは遊びたいから遊び、結果としてたくさんのことを学んでいくのです。でも、そこには保育者の意図や陰ながらの援助（環境を通して行う教育）があつてのことです。

NHK すくすく子育てでおなじみの汐見稔幸先生が「子どもと遊び、家族の関係について」の回答の一部に右記のように子どもの成長にとって「遊び」が大切であるということ、「遊びを充実させる」とは、「つくる」遊びを提案したい、と言っています。

また、ご家庭でも楽しめる、そしてこの時期大切にしたい、成長に合わせた具体的な「つくる遊び」の事例を『5月の保育のお知らせ』に載せてありますので参考にしてみてください。



今年も新たな1年、自然豊かな園環境や、素材豊かで必要に応じた室内環境の中で、そして、周りの大人たちの人的環境の中で、子どもたちが豊かに育ち、自らたくさんことを学んでほしいと願っています。

これからも、職員一同、力を合わせ、子どもたちと向かい合っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（文責：中田）

回答：汐見稔幸さん



「ふだん、子どもにしてあげたかったけれど、時間がなくてできなかったこと」を見つけるのがいいと思うのですが、私からの提案として「遊び」を再発見する、というのはどうでしょう？ 幼児教育の世界ではいま、子どもの成長にとって「遊び」が最も大事だということがわかってきています。子どもと家庭で過ごす時間が増えた今だからこそ、「あそび」の充実を図ることは、子どもの発達にとって、とてもいい時間になると思うのです。でも、「遊びを充実させる」といっても、家庭でどうすればいいのか？ —とても難しいことだと思われるかもしれません。そこで、私が提案したいのは「つくる」遊びです。

この続きやこの時期ご家庭でできることについての質問に対しての回答は下記よりご覧になれます。

<https://www.nhk.or.jp/sukusuku/article/2020msg10.html>

《0・1・2歳児》

## 進級、入園おめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響による自由登園、登園自粛要請などもあり、通常保育が困難な状況ではありますが、手洗いうがい、消毒の徹底、3密を避ける、不要不急の外出自粛、ステイホームの実施等、各々が今出来ることを徹底し一日でも早い収束を願いたいですね。

さて、あらためまして、メイプルキッズ施設長の新井利枝です。あかみ幼稚園の保育者として、うん十年、2千人以上の卒園生を見送ってきました。今年入園の子達の中にも卒園生のパパやママが多く、懐かしい再会を嬉しく思っています。

私生活では、大学生の娘と高校生の息子の母でもあります。子ども達も手が離れた今、仕事から帰っても喜んでくれるのは飼い犬と猫ばかりの今日この頃です。こんな施設長ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。

このコラムでは、保育者の視点、母としての視点双方から、保育の中での出来事や、子どもの発達のこと、自分自身の子育て奮闘記など、色々なことを伝えていけたらなと思っています。

メイプルキッズでは、目に見えない心の育ち、愛着形成を大切に、担当制保育を取り入れています。幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも次のように示されています。

乳児期において、園児は身近にいる**特定の保育教諭**等による愛情豊かで受容的・応答的な関わりを通して、相手との間に愛着関係を形成し、これをよりどころにして、人に対する基本的信頼感を培っていく。また、自分がかげがえのない存在であり、周囲の大人から愛され、受け入れられ、認められていることを実感し、自己肯定感を育んでいく。さらに、安心できる安定した関係の下で、自分の気持ちを相手に表現しようとする意欲が生まれる。こうした育ちは、生涯にわたって重要な、人と関わり合いながら生きていくための力の基盤となるものである。

乳幼児期は、上にも示されていますが、人として生きていくための基礎が育つ時期でもあります。メイプルキッズでは、ご家庭での愛着関係が成立する過程を援助すると共に、園での保育では、保育者が一人ひとりのこどもの「心の拠り所、安全基地」となれるよう配慮しています。

\*愛着とは・・・子どもが特定の大人に対して持つ情緒的な絆のことです。

愛着形成で重要なことは・・・

まず一つ目は、「信頼できる人が近くにいて自分が守られていると実感できること、人と関わる楽しさや喜びを感じること・・・」

この安心感から、他の人とも積極的に関わろうとする社会性が育っていきます。

二つ目は、「特定の大人との安心できる関係を通して、自分の要求を伝えたり、相手の要求に答えようとしたりすること・・・」自己表現力やコミュニケーション力が育ちます。赤ちゃんのとき不快で泣くと、オムツを替えてくれたり、おっぱいを飲ませてくれたり、こうした行為の繰り返しが基盤になります。

三つ目は、「不安なときや危機を感じたときに、愛着対象の人が安全基地の役割を果たし安心が得られること・・・」何かあっても、大丈夫と感じられることが大切です。

愛着関係が形成されていくと、子どもは自我が芽生え自立への一歩を歩み始めます。

所謂イヤイヤ期への突入です。ひとりで歩けるようになると、様々な探索行動が始まります。大人がなにか促しても「いや」「ダメ」ということが多くなってきます。言っていることは分かるけど、言いなりにになりたくないという思いが強くなってくるのです。

自我とは、自分を意識して自己主張し、自分にこだわる心の動き、また、他者の自我とぶつかりながら折り合いをつける力でもあります。

自我の芽生えとは、自分はこうしたい、自分はこれが好きという意味がはっきりしてくる時期でもあります。

でも、この時期主張はするけど、受け入れるのはまだまだ難しい・・・。言葉で自分の思いをうまく伝えられないために、トラブルもよくおきます。物の奪い合いや場所の取りっこ、思い込みの違いなど様々ですが・・・。自我が育つことによって、物や人などへの執着も強くなり、なんでも自分のものにしがたがるのです。また、自分のもの、他者のものの区別が難しいのですね。これは1～2歳児では当たり前前の姿でもあります。

このように0歳～2歳は人としての基礎が育っていく時期です。会話ができるようになって、心の成長はまだまだこれからです。

私達保育者は、こうした子ども達の発達の特徴を踏まえ、愛着形成を基盤に、担当保育者との応答的な関わりを通して情緒的な絆が形成されるよう配慮しています。子ども達の健やかな成長のために、ご家庭と協力しながら質の高い保育を実践していきたいと考えています。

